

# 職

## 「歯科医院」の研究 発展の条件

### Part I 大変革の時代が始まった

この冬 ASK-PROF は  
新しい院内リカレント研修教材を提供します

デンタルライナー2部作に続く  
ありそうだけど無かった教材

歯科医院の発展に欠かせない  
「人」  
について研修していただくための教材です



# 「歯科医院」の研究—発展の条件 PART I 大変革の時代が始まった

## MANAGEMENT GUIDE

### Table of Contents

#### Chapter 1 大変革の時代が始まった

- 1.1 わたしたちの現在地
- 1.2 青年は大会を目指す
  - 1.2.1 青年女性が地方を離れる理由
  - 1.2.2 大会の魅力（背景）
- 1.3 地方におけるインフラコストの劇的上昇
- 1.4 DX化

#### Chapter 2 歯科医院とは何か

- 2.1 歯科医院は手術室である
- 2.2 歯科医院の経営は個人的である

#### Chapter 3 備えよ常に

- 3.1 スタッフが勤務先に期待すること
- 3.2 備えよ常に
- 3.3 スタッフは「人材」ではありません
- 3.4 成功への自己変革
  - 3.4.1 経営者とスタッフの「オフィス像」を一致させる
  - 3.4.2 「顧客」の獲得
  - 3.4.3 先生、さよなら
  - 3.4.4 発展するための院内努力
  - 3.4.5 院長は動く広告塔である

### Chapter 1

#### 大変革の時代が始まった

##### 1.1 わたしたちの現在地

##### 1.2 青年は大会を目指す

- 1.2.1 青年女性が地方を離れる理由
- 1.2.2 大会の魅力（背景）

##### 1.4 DX化

DX化を恐れてはならない、これから三年の間に診療を含む医院経営にDXをどのように活用できるかは、医院の将来を左右する決定的な要素である。

##### DX化が必要理由

人手不足、2040年に日本では1,000万人の労働供給が不足するとされている見えて、日本は先進国であり、東南アジアは後進国であるという誤り込みが、それなりの教養と知識があるはずの人たちにも浸透し

日本以外の多くの国で既にDX化が相当に進んでおり、モノやサービスの決済を迅速にかつ確実に行う方法としてデジタルスタンダードになっている。このままでは国内外のさまざまな経済活動に支

##### 1.2 青年は大会を目指す

近年の日本では、地方で生まれ育った若い女性の東京への持続的な転出が著しく、女性は男性の1.3倍の転出超過を示す。その傾向は北海道において顕著であり、女性の転出者数は男性の約2.7倍である。1大都市圏のうち、名古屋と大阪は過去10年の間、転出超

##### 3.4.3 先生、さよなら

進学、就職、転勤や院長の健康問題を除いて、患者が通院を止める理由には、以下のようなものがある。

##### (1) 治療技術

これは、治療技術が患者の期待と異なる場合である。両者の技量に問題があるのか、患者の理解が浅いのかは一概に言えないが、長く通院していても改善が見られなかったり、疼痛が治らなかつたりすると、患者は不満に思うことがある。

担当医が患者さんに分かるように説明できない場合、患者の不安は募る。また、担当医が自分の「意見」は言ってもその根拠となるエビデンスや論文が示されない場合も、不信感は増す。

「フル」に歯科医院を評価する時の指標

医院を選択する時に好んで使う客観的な指標が分れば、それを手取りかりに医院を特徴づけ、患者ごとに一定の効果はある。以下に記すような事柄は指標になる。

G1 アクセス、勤務先に近いか子供なら家から近いか。

G2 担当医の「顔（態度）」、正しい診断をできることが前提であるが、手技の良否は事前にも治療後も分かりにくいことが多い。口腔内操作の時に口臭を引っかけられて痛いとか、歯を削っているときにあとがいがいを手で強く圧迫するとかは、患者さんから見て不評である。両患者である私から見てもフリップハンド操作のときはい、あまり痛くて悪いクレーター傷が浮かんできてくる。（その後の痛みは患者さんによるが、その材料は関係ない）

